# ドライブ

製品番号：404156-291

2006年3月

このガイドでは、コンピュータのハードドライブおよびオプティカルディスク ドライブの使用方法について説明します。

# 目次

# 1

# ドライブの取り扱い上の注意

ドライブは、コンピュータ コンポーネントの中でも繊細なコンポーネントです。そのため、注意して取り扱う必要があります。ドライブを取り扱う前に、次に示す注意事項を参照してください。特定の手順に関する注意事項は、操作手順の説明に含まれています。

**注意：**コンピュータやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

■ コンピュータや外付けハードドライブの電源を入れたままある場所から別の場所へ移動させるような場合は、必ず事前にスタンバイを起動して画面表示が消えるまでお待ちください。

■ ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電します。

■ リムーバブル ドライブまたはコンピュータのコネクタ ピンに触れないでください。

■ ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり強い力を加えたりしないでください。

■ ドライブの着脱を行う前に、コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムから電源を切ります。

■ ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

- オプティカル ドライブ内のメディアへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。
- バッテリ パックのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリ パックが十分に充電されていることを確認してください。
- 高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。
- ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、直接液体クリーナーなどを吹きかけないでください。
- ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出します。
- ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。
- ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をでチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなくX線を使ってチェックを行うので、ドライブには影響しません。

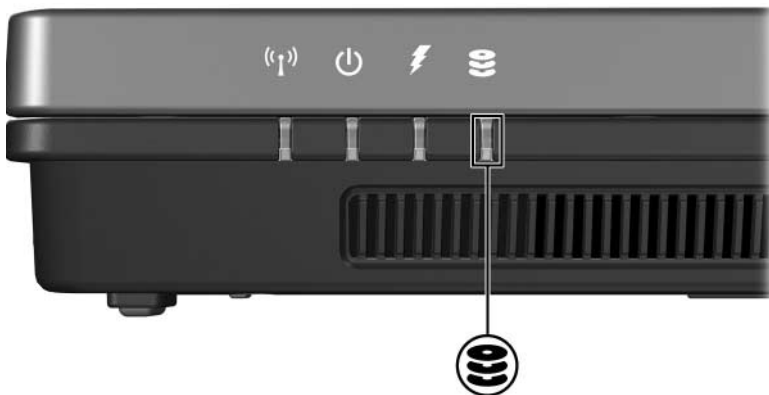
# 2

# ドライブ ランプ

ドライブ ランプは、ハードドライブまたはオプティカル ドライブにアクセスしているときに点滅します。

一部のモデルでは、コンピュータを落下させたりバッテリ電源で動作している間に移動させたりした場合、ドライブ ランプがオレンジ色に変わります。オレンジ色のドライブ ランプは、HPモバイル データ プロテクションによりハード ドライブが一時的に停止していることを示します。

お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。

# 3

# ハードドライブ

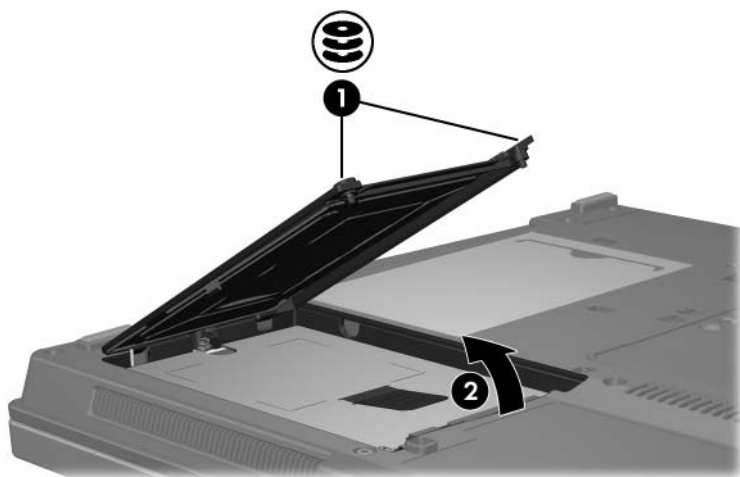
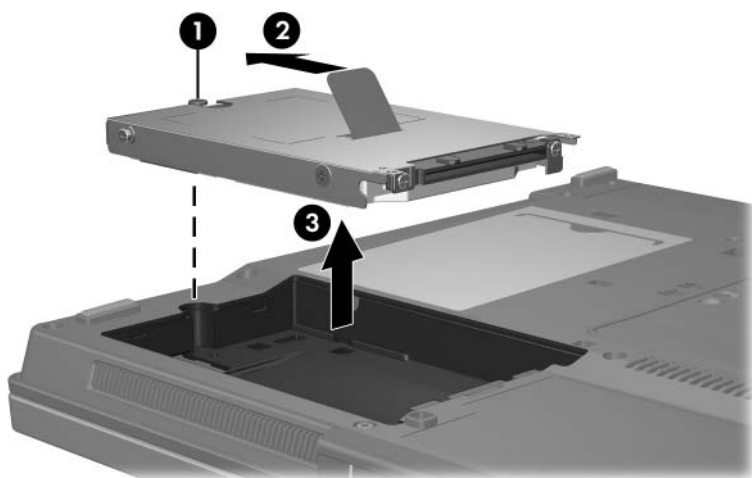
## ハードドライブの交換

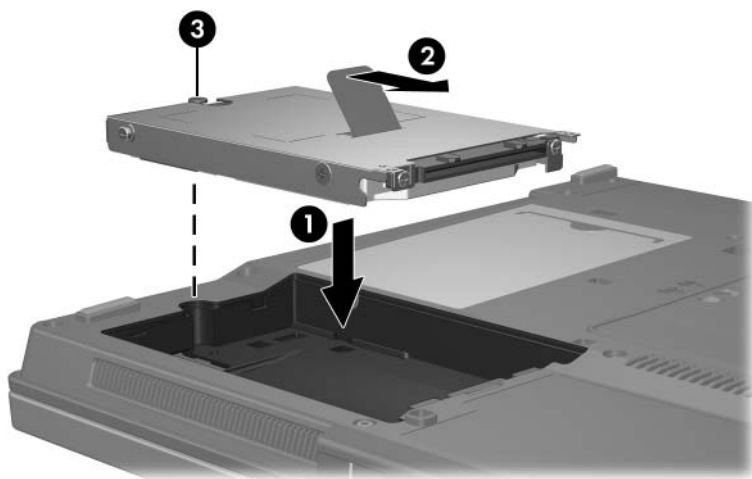
**注意：**システムのロックや情報の損失を防ぐため、以下の注意を守ってください。

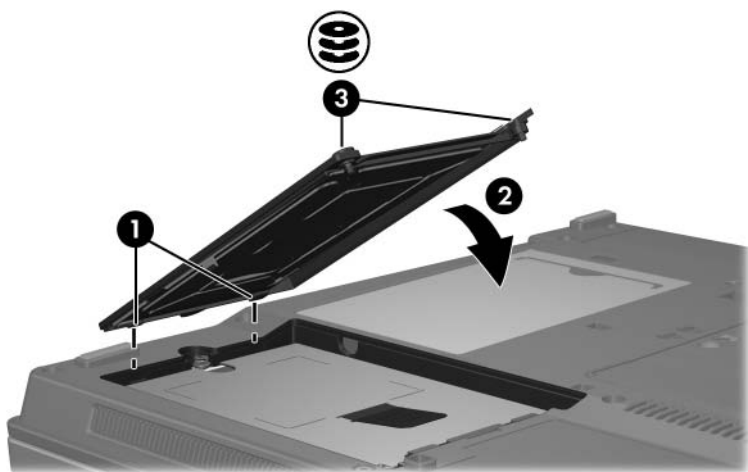
- ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピュータの電源を切ってください。コンピュータの電源が入っているときや、スタンバイまたはハイバネーションの状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。
- コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムをシャットダウンしてください。

お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。

ハードドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータの電源を切り、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータに接続されている外付けデバイスをすべて取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. コンピュータを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピュータからバッテリ パックを取り外します。
7. ハードドライブ ベイが手前になるように置き、ハードドライブ カバーの2つのネジ❶を緩めます。
8. ハードドライブ カバーを持ち上げて❷、コンピュータから取り外します。

9. ハードドライブのネジ❶を緩めます。
10. ハードドライブ タブを左方向に引いて❷、ハードドライブの固定を解除します。
11. ハードドライブをコンピュータから持ち上げます❸。

ハードドライブを装着するには、以下の手順で操作します。

1. ハードドライブを、ハードドライブ ベイに挿入します❶。
2. ハードドライブ タブを右方向に引いて❷、ハードドライブを固定します。
3. ハードドライブのネジ❸を締めます。

4. ハードドライブ カバーのタブ❶を、コンピュータの溝に合わせます。
5. カバーを閉じます❷。
6. ハードドライブ カバーのネジ❸を締めます。

# 4

# オプティカル ドライブ

DVD-ROMなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CDおよびDVD）をサポートします。これらのディスクは、情報を保管または移動したり、動画や音楽を再生したりするために使用します。DVDの方が、CDより大きい容量を扱うことができます。

お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。

お使いのモデルによって、オプティカル ドライブでは次の表に示すようにコンピュータから読み取りまたは書き込みができます。

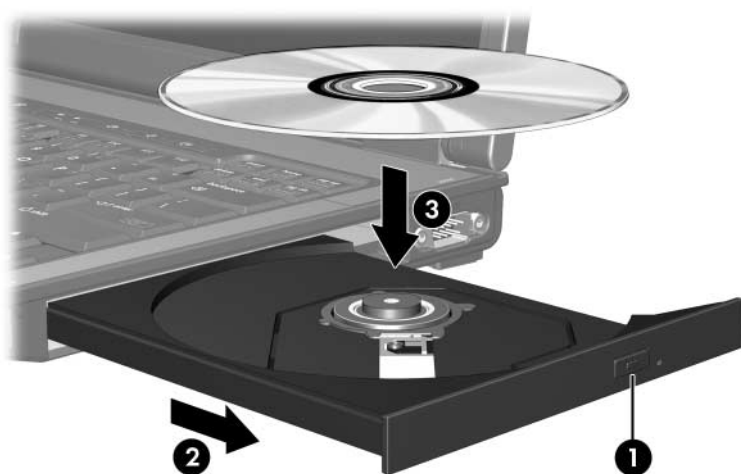
| オプティカルドライブの種類 | CD-ROMおよびDVD-ROMの読み取り | CD-RWへの書き込み | DVD±RW/Rへの書き込み | DVD±RW DLへの書き込み | LightScribe CDまたはDVD±RW/Rへのラベルの印刷 |
|---|---|---|---|---|---|
| DVD-ROMドライブ | 可 | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 |
| DVD-ROM/CD-RWコンボドライブ | 可 | 可 | 不可 | 不可 | 不可 |
| DVD±RW/CD-RWマルチドライブ | 可 | 可 | 可 | 不可 | 不可 |
| DVD+R/RWドライブ（2層記録対応） | 可 | 可 | 可 | 可 | 不可 |
| LightScribe DVD+R/RWドライブ（2層記録対応） | 可 | 可 | 可 | 可 | 可 |

ここに示すオプティカル ドライブによっては、お使いのコンピュータでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブすべてが上記の一覧に記載されているわけではありません。

## オプティカル ディスクの挿入

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン❶を押して、メディア トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイをゆっくりと引き出します❷。
4. CD または DVD の表面に触れないように端を持ち、ラベルを上にしてトレイの回転軸に置きます。

   ✎ トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸に置きます。

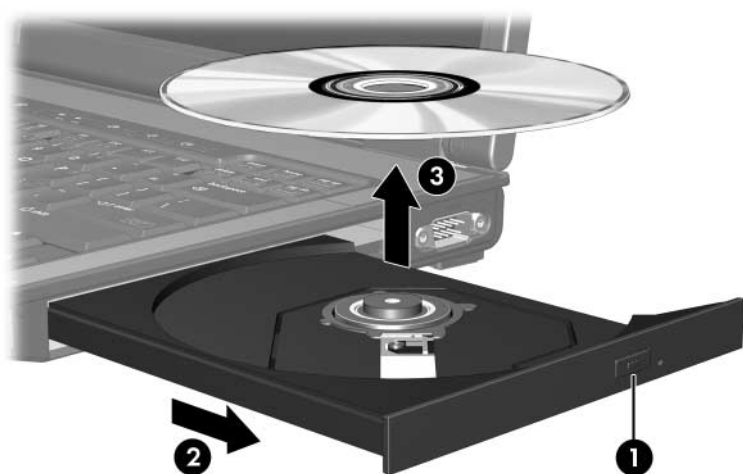
5. ディスクをそっと下に押して❸、トレイの回転軸にはめ込みます。

6. メディア トレイを閉じます。

ディスクの挿入後、プレーヤの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。デフォルトのメディア プレーヤを選択していない場合は、**[自動再生]**ダイアログ ボックスが開き、メディアの内容の使用方法についての選択を求められます。

# オプティカル ディスクの取り出し（電源使用時）

コンピュータが外部電源またはバッテリ電源で動作している場合は、以下の手順で操作します。

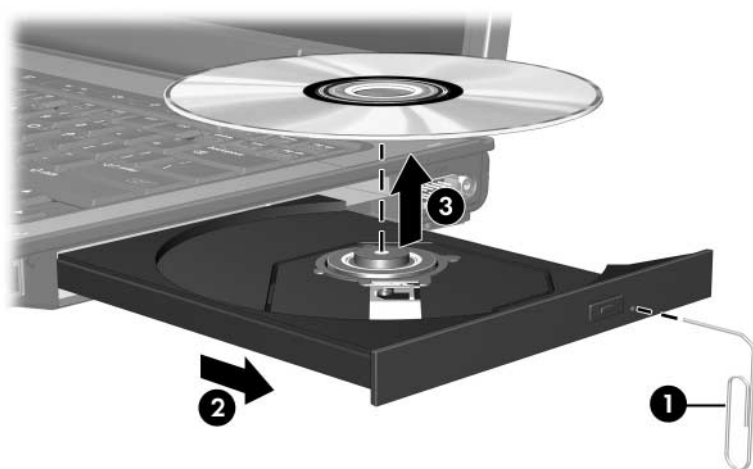
1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン❶を押して、メディア トレイが少し押し出された状態になったら、トレイをゆっくりと引き出します❷。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します❸。ディスクを扱うときは、表面に触れないように端を持ってください。

✎ メディア トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出します。

4. メディア トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

## オプティカル ディスクの取り出し（電源切断時）

外部電源またはバッテリ電源を利用できないときは、以下の手順で操作します。

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース アクセスにクリップの端を差し込みます❶。
2. クリップをそっと押して、トレイが少し押し出された状態になったら、トレイをゆっくりと引き出します❷。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します❸。ディスクを扱うときは、表面に触れないように端を持ってください。

✎ メディア トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出します。

4. メディア トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

## スタンバイまたはハイバネーションの防止

**注意：**オーディオやビデオの劣化または再生機能の損失を防ぐため、CDやDVDの読み取りまたは書き込みをしているときにスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。

また、情報の損失を防ぐため、CDやDVDへの書き込み時にスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。

ドライブ メディア（CDやDVDなど）を再生中に、誤ってスタンバイまたはハイバネーションを起動した場合、次のことが発生します。

- 再生が中断される場合があります。
- [コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]という警告が表示される場合があります。[いいえ]をクリックします。
- CDまたはDVDを再び起動して、オーディオまたはビデオの再生を再開する必要があります。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。

**警告：**その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

**注意：**その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ドライブ
初版 2006年3月
製品番号：404156-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社